

第 1 号議案

令和 2 年度活動報告及び収支決算について

I 令和 2 年度活動報告

1 機関誌の発行

機関誌「子ども樹木博士ニュース」を令和 2 年 6 月 1 日 (No. 79)、9 月 1 日 (No. 80)、12 月 1 日 (No. 81) 及び令和 2 年 3 月 1 日 (No. 82) の 4 回発行 (各回 850～900 部) し、会員や実施団体をはじめ、林野庁、森林管理局・署等、都道府県、関係団体等に配布した。

(参考)「子ども樹木博士ニュース」(No. 75～78) の掲載概要

No. 79

- 巻頭言：身近な自然から学ぶ (井上 公基)
- 特集Ⅰ：植物の不思議 テーダマツの戦略 (安樂 行雄)
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記 (17) (岩谷 美苗)
- 事例報告：樹木を通じて身近な自然に親しみを (小山内 朝香)
- シリーズⅠ：樹木名の話 (17) —アジサイは名も七変化— (埜田 宏)
- シリーズⅡ：東南アジアの木々たち (47) —不思議な葉っぱのアカシア— (梅本 浩史)
- 子ども樹木博士質問コーナー (59) (寺嶋 嘉春)
- 事務局だより：令和 2 年度 森林インストラクター「資格試験」と「養成講習Ⅱ」の申し込み開始

No. 80

- 巻頭言：子ども樹木博士を目指す子供たちへの指導 (石井 誠治)
- 特集Ⅰ：植物の不思議 蜜の出し入れ戦略 (安樂 行雄)
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記 (18) (岩谷 美苗)
- 事例報告：森を楽しみ、森に親しむ、そして森から学ぶ (武馬 和雄)

- シリーズⅠ：樹木名の話（18）—エノキとムクノキ—（埴田 宏）
- シリーズⅡ：東南アジアの木々たち（44）—南国に生えるクサギの仲間—
（梅本 浩史）
- 子ども樹木博士質問コーナー（60）（寺嶋 嘉春）
- 事務局だより：平成元年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況
（令和2年3月31日現在）

No. 81

- 巻頭言：樹木や植物の名を知ると世界は変わる（田中 浩）
- 特集Ⅰ：植物の不思議 太陽を求める戦略（安樂 行雄）
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記（19）（岩谷 美苗）
- 事例報告：「自然探検クイズ」で樹木に親しみ「子ども樹木博士」に
チャレンジ（横田 登美子）
- シリーズⅠ：樹木名の話（19）—ワカマツはマツの種類（埴田 宏）
- シリーズⅡ：東南アジアの木々たち（49）—南国に生える松のお話①—
（梅本 浩史）
- 子ども樹木博士質問コーナー（61）（寺嶋 嘉春）
- 事務局だより：「子ども樹木博士のための樹木ガイド」のご案内

No. 82

- 巻頭言：「子ども森林インストラクター」認定プロジェクトの取組
（寺嶋 嘉春）
- 特集Ⅰ：植物の不思議 葉の戦略（安樂 行雄）
- 特集Ⅱ：観察会テンパリ日記（20）（岩谷 美苗）
- 事例報告：丹波篠山市の子ども樹木博士認定活動について
（安井 直哉）
- シリーズⅠ：樹木名の話（20）—ヤシャブシとハンノキ—（埴田 宏）
- シリーズⅡ：東南アジアの木々たち（50）—南国の生える松のお話②—
（梅本 浩史）
- 子ども樹木博士質問コーナー（62）（寺嶋 嘉春）
- 事務局だより：令和3年度森林インストラクター「資格試験」・
「養成講習」の日程のお知らせ

2 認定活動等の実施状況

(1) 認定活動の推進

令和2年度の認定活動について、実施団体から事務局に報告等されたものは、実施回数で延べ12回、参加人数で延べ約3百人（前年度は30回、約8百人）となっている。

また、地域ごとには、7都道府県で、11団体による実施（前年度は12都道府県、20団体による実施）となっている。

(2) 認定証の配布等

要望を受けて、「認定証」、認定活動の「進め方」、その他の資料等を配布した。このうち、認定証の配布数は、510枚（前年度1,005枚）となっている。

（注）認定証にはA5サイズと名刺サイズの2種類のものがあり、これらを併せてセットで要望されるケースもある。

(3) 「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及

「子ども樹木博士のための樹木ガイド」の普及に努めた。配布数は40冊（前年度197冊）となっている。

(4) 交流会の開催

「みどりとふれあうフェスティバル」（開催日、場所：令和2年5月10、11日、東京都日比谷公園）において出展を予定していたが、「みどりとふれあうフェスティバル」が新型コロナウイルス感染症対策のため中止となり、出展を取りやめた。

(5) インストラクターの紹介等

実施団体からの要請に応じ、（一社）日本森林インストラクター協会等と連携を図り、森林インストラクター等を紹介した。

また、令和2年度の認定活動の実施について報告等のあった実施団体を含め、実施団体の一覧表を整理した。

その結果として、平成12～令和2年度に認定活動を実施したことのある

団体は 44 都道府県で 341 団体（前年度は 44 都道府県で 337 団体）となっている。

(6) その他の活動等

資料請求のあった者に対し、冊子「認定活動の進め方」、パンフレット「子ども樹木博士のすすめ」などを配布した。

協議会等のホームページの更新等を逐次行った。

【当協議会の URL は http://www.shinrinreku.jp/kodomo_nintei/index.php】

【子ども樹木博士の URL は <http://www.shinrinreku.jp/kodomo-n/main.html>】

3 会員の状況

(1) 令和 3 年 3 月末

団体会員 18 団体（前年度：19 団体）

個人会員 63 人（前年度：66 人）

Ⅱ 令和2年度収支決算報告書

(令和2年4月1日～令和2年3月31日)

(単位：)

区 分	予算額	決算額	差 引	備
(収入の部)				
1 会費収入	322,000	268,000	-54,000	
団体会員	190,000	170,000	-20,000	
個人会員	132,000	98,000	-34,000	
2 助成金収入	800,000	800,000	0	未収金
3 雑収入	100,005	31,703	-68,302	
認定証代金	30,000	10,750	-19,250	
樹木ガイド代金	70,000	20,950	-49,050	
受取利息	5	3	-2	
その他収入	0	0	0	
当期収入合計 (A)	1,222,005	1,099,703	-122,302	
前期繰越収支差額	1,230,743	1,230,743	0	
収入合計 (B)	2,452,748	2,330,446	-122,302	
(支出の部)				
1 会議費	50,000	6,000	-44,000	
総会費	30,000	6,000	-24,000	
その他の会議費	20,000	0	-20,000	
2 事業費	1,150,000	252,600	-897,400	
機関誌発行費	300,000	252,600	-47,400	
教材等作成費	600,000	0	-600,000	
推進活動費	250,000	0	-250,000	
3 事務費	940,000	959,422	19,422	
事務補助費	570,000	540,000	-30,000	未払金
連絡通信費	100,000	180,648	80,648	
事務用品・コピー費	250,000	230,000	-20,000	未払金
雑費	20,000	8,774	-11,226	
4 予備費	100,000	0	-100,000	
当期支出合計 (C)	2,240,000	1,218,022	-1,021,978	
当期収支差額 (A-C)	-1,017,995	-118,319	899,676	
次期繰越収支差額 (B-C)	212,748	1,112,424	899,676	